

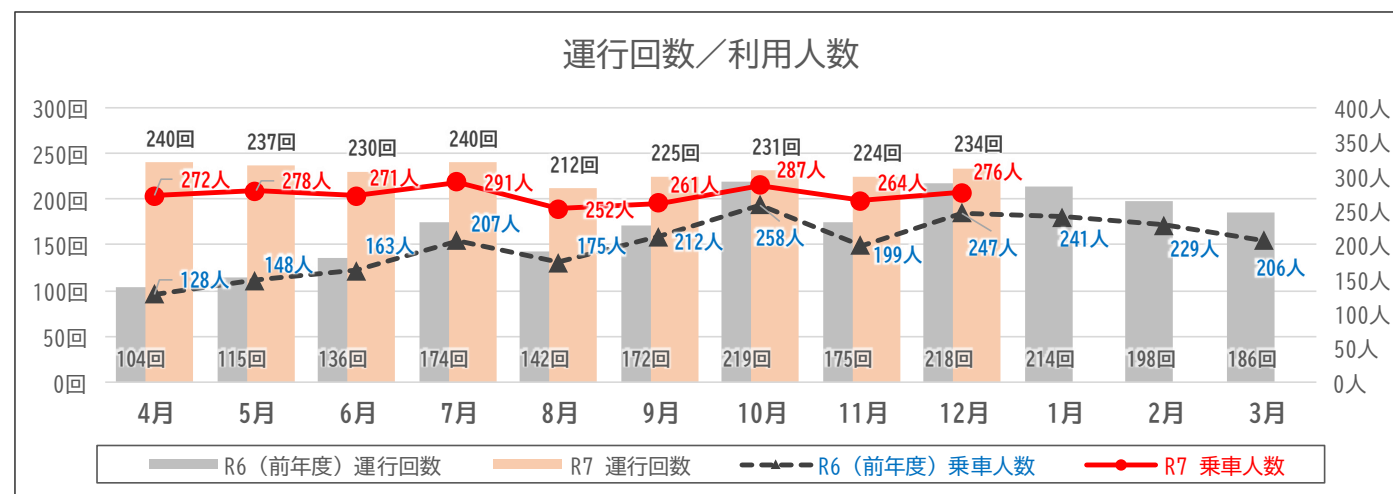
# 乗合タクシー及び妙見口のせ号の利用状況について（令和7年4月～令和7年12月）

資料3

## ①乗合タクシー

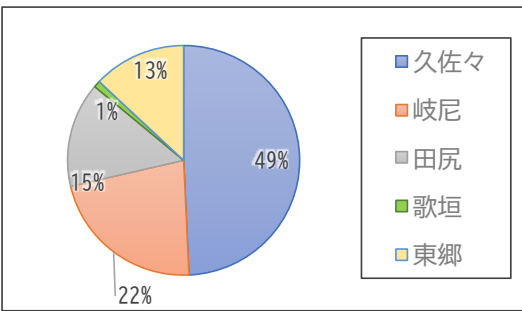
### ①利用実績と目標値の達成状況

項目	合計 (4-12月)	月平均	目標値	達成率	【前年度実績】	
					(R6年度)	月平均
運行回数 (A)	2,073回	230回	—	—	2,053回	171回
乗合回数	165回	18回	—	—	113回	9回
乗車人数 (B)	2,452人	272人	—	—	2,413人	201人
1便当たり利用者数 (B/A)	1.18人	—	1.50人	78.7%	1.18人	—
運行日当たり利用者数 (B/D)	13.33人	—	25.00人	53.3%	10.01人	—
実利用人数	127人	—	100人	127.0%	108人	—
新規利用者数	50人	6人	—	—	66人	6人
運行対象日数 (C)	184日	—	—	—	243日	—
実運行日数 (D)	184日	20日	—	—	241日	20日
稼働率 (D/C)	100.0%	—	100.0%	100.0%	99.2%	—
運賃収入 (現金)	253,050円	28,117円	—	—	277,800円	23,150円
運賃収入 (回数券)	369,630円	41,070円	—	—	331,020円	27,585円
収支率	5.70%	—	—	—	3.80%	—



### ②地区別の利用者数

地区名	利用者数
久佐々地区	1,208人
岐尼地区	542人
田尻地区	361人
歌垣地区	23人
東郷地区	318人
計	2,452人

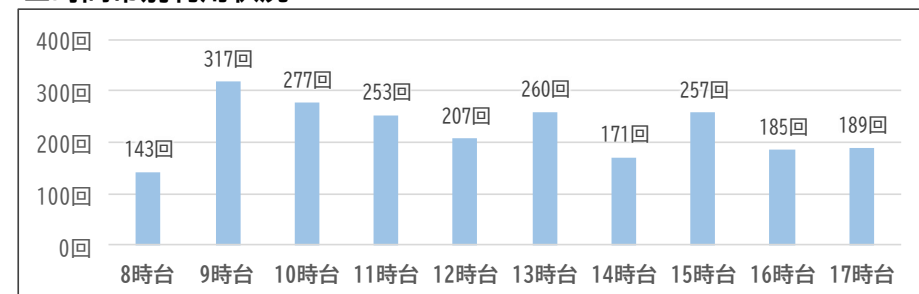


### ③主な利用目的

利用目的	回数
公共施設	91回
生活関連施設	661回
医療機関	212回
その他（不明）	—
乗り継ぎ	515回
計	1,479回

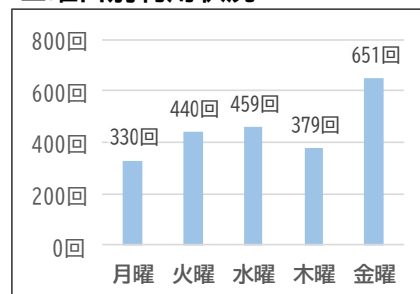
※帰り便を除く。

### ■時間帯別利用状況



※複数人乗車により運行回数 (A) と一致しない

### ■曜日別利用状況



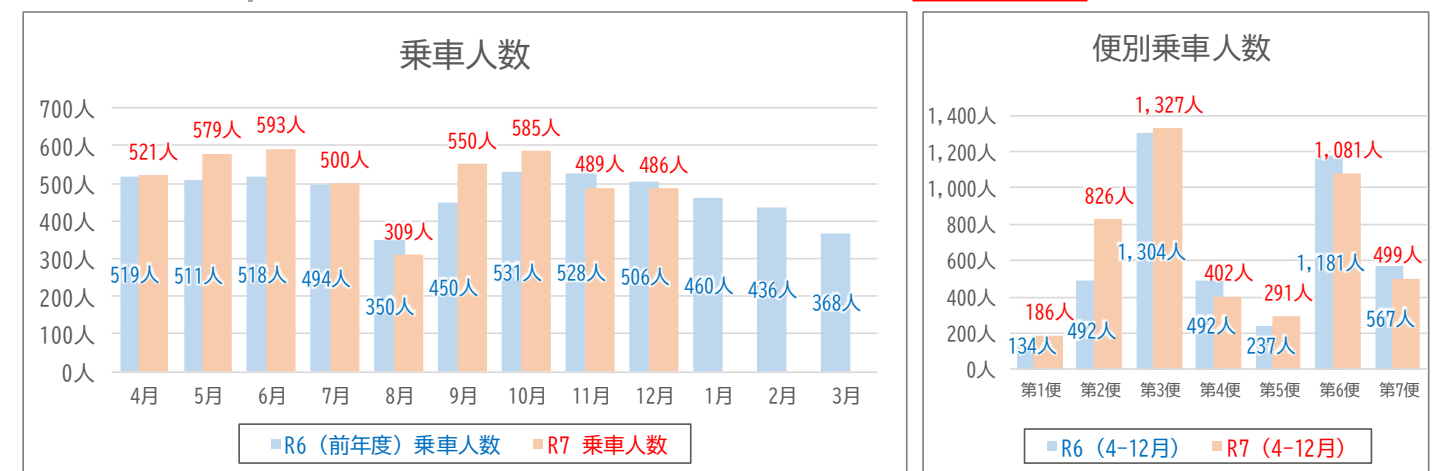
※複数人乗車により運行回数 (A) と一致しない

## ②妙見口のせ号

### ①乗車人数

(運行対象日数：184日)

	乗車人数 (4月～12月)	乗車方法			1日当りの 平均乗車人数	1日当りの 最大乗車人数	乗車がなかった日数
		現金	定期	回数券			
第1便 6:13発	186人	15人	167人	4人	1.0人	2人	16日
第2便 6:55発	826人	405人	331人	90人	4.5人	9人	—
第3便 7:55発	1,327人	255人	997人	75人	7.2人	13人	4日
第4便 12:43発	402人	262人	82人	58人	2.2人	9人	32日
第5便 13:25発	291人	232人	41人	18人	1.6人	6人	40日
第6便 17:00発	1,081人	300人	601人	180人	5.9人	9人	—
第7便 18:00発	499人	175人	285人	39人	2.7人	6人	17日
計	4,612人	1,644人 (35.6%)	2,504人 (54.3%)	464人 (10.1%)	25.1人 (目標値:26人)	(10人以上利用) 38日	109日



### ②収入額

※定期券は利用月数で按分して計上

※回数券は使用実績から還元率（係数0.9）を乗じて計上

区分	種別	収入
現金	—	652,400円
定期	通勤	362,267円
—	通学	1,039,300円
回数券	—	169,920円
計	—	2,223,887円
収支率	—	32.35%

### 【直近の定期利用者】

能勢分校関係	通勤	1人
	通学	8人
通勤（町民）	—	2人
通学（町民）	—	1人

### 令和7年度（4月～12月）の運行実績について（まとめ）

#### ▶乗合タクシー

- ・目標値には至っていないが運行回数、乗車人数共に昨年度の月平均と比較して大幅に増加。（運行回数：171回→230回、乗車人数：201人→272人）
- ・しかし、1便当たりの利用者数横ばいであり、乗合利用の促進が今後の課題。（R6：1.18人→R7：1.18人）

#### ▶妙見口のせ号

- ・目標値である1日当たり平均利用人数26人については、現在25.1人であり、達成率96.5%である。
- ・便別の利用状況については、第1便は1日当りの平均乗車人数が1.0人と依然として少ない状況である。
- ・第2便については、1日当りの平均乗車人数が前年度2.7人に対して、4.5人に増加。新たな定期利用者（通勤1名、通学1名）及び現金利用者が主な要因と考えられる。
- ・第4便及び第5便については、最大乗車人数が定員に達する日もありながら、乗車がない日数も多く、利用にばらつきが見られる。

- ▶ 今後も利用状況をモニタリングし、運行内容の改善等について検討を進めていく。